

議会だより

17号

春・爛・漫
『サクラサク』



弥勒山中腹から見下ろした久々子湖

- 議会構成 2
- 新正副議長あいさつ 3
- 2月臨時会 3
- 3月定例会 4
- 常任委員会の動き 5
- 一般質問 8
- 各種委員会・その他活動報告 11
- 議会の動き・編集後記 14

第16期 美浜町議会がスタートしました

美浜町 議会構成

議長 藤本 悟
副議長 松田 うめ子

議会運営委員会

◎兵庫 賢一 野瀬 雅己
○松坂 隆司 浜野 健治
河本 猛 竹仲 良廣

◎…委員長 ○…副委員長

総務文教常任委員会



◎川畑 忠之 ○河本 猛 辻井 雅之



浜野 健治 山口 和治 松田うめ子



辻 健一郎

産業厚生常任委員会



◎崎元 良栄 ○野瀬 雅己 松坂 隆司



藤本 悟 兵庫 賢一 竹仲 良廣



飯田 豊

予算決算常任委員会

◎松田うめ子
○川畑 忠之
河本 猛
辻井 雅之
野瀬 雅己
松坂 隆司
浜野 健治
崎元 良栄
山口 和治
兵庫 賢一
竹仲 良廣
辻 健一郎
飯田 豊

原子力発電所特別委員会

◎竹仲 良廣 野瀬 雅己
○浜野 健治 山口 和治
河本 猛 辻 健一郎
川畑 忠之

議会広報特別委員会

◎松坂 隆司 藤本 悟
○辻井 雅之 松田うめ子
川畑 忠之 飯田 豊
崎元 良栄

議会活性化特別委員会

◎兵庫 賢一 松坂 隆司 松田うめ子
○野瀬 雅己 浜野 健治 辻 健一郎
河本 猛 崎元 良栄 飯田 豊
辻井 雅之 山口 和治
川畑 忠之 竹仲 良廣

公立小浜病院組合議会

常任議員
松坂 隆司
辻井 雅之
野瀬 雅己

嶺南広域行政組合議会

代表者
藤本 悟
松田 うめ子

敦賀美方消防組合議会

代表者
浜野 健治
河本 猛
崎元 良栄
兵庫 賢一

美浜・三方環境衛生組合議会

藤本 悟
川畑 忠之
山口 和治
竹仲 良廣
辻 健一郎
飯田 豊

議長あいさつ

議長 藤本 悟



町民の皆様には、平素より町議会に対し深いご理解と力強いご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。さてこの度、改選後の3月定例会におきまして、議員各位のご推挙を頂き、引き続き町議会議長を拝命いたしました。光栄に存じますと同時にその責任の重大さを痛感しているところでござります。いま地方分権時代を迎え、地方自治体の権限力、役割が進展する中で、議会の果たすべき役割は益々大きくなってきております。執行機関の監視や評価機能だけにとどまらず、政策提言や立案に取組み、町民の皆様積極的に発言する責務があると考えております。依然として、地域経済や雇用は低迷の状況にあります。少子高齢化といわれ、エネルギー政策、PPP交渉など、これらの方針によっては多大な影響が生じる可能性があります。町制60年を迎え、これからの将来を見据え、議員各位と力を合わせ信頼される議会として活動してまいります。終わりに皆様方のご協力を心からお願ひ申し上げまして就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ

副議長 松田うめ子



この度、平成26年第2回定例会において、副議長という大役を仰せつかりました。本町は町制施行60年を迎えており、その節目の年に副議長をさせていただくという事は、このうえない光栄であり、責任の重大さを痛感しております。

さて、我が国は、長期にわたる経済低迷からようやく明るい兆しが見えてきたものの、地方においては、その実感がまだ十分とはいえない状況です。安倍晋三首相は、成長戦略の柱の一つとして「女性の活躍」を上げており、また、一月に開催されたダボス会議での基調講演では、「日本は女性が輝く国にならなくては行けない。」と語っています。

少子高齢化を迎え仕事と子育てを両立しながら、女性がその能力を十分に発揮し活躍できることが、日本経済活性化の決め手として注目を浴びています。「女性が輝く社会の実現」に向け、皆様の意見をお聞きしながら皆様と共に頑張ってまいります。

2月臨時会 (2月12日~17日)

2月臨時会は、2月12日から17日までの6日間の日程で開かれました。平成26年度一般会計予算等、10議案、予算関係は予算決算常任委員会、条例議案については全員協議会で審議の上、いずれも原案どおり可決しました。

平成26年度 当初予算決まる

- 平成26年度美浜町一般会計予算
総額62億7215万8千円、前年度比1億4359万7千円の減
- 平成26年度美浜町診療所事業特別会計予算
総額1億7405万9千円、前年度比397万8千円の増
- 平成26年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算
総額13億2625万4千円、全年度比446万1千円の減
- 平成26年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算
総額1億1101万円、前年度比83万4千円の増
- 平成26年度美浜町介護保険事業特別会計予算
総額12億706万3千円、前年度比4429万9千円の増
- 平成26年度美浜町簡易水道事業特別会計予算
総額3億8614万1千円、前年度比3億2637万5千円の増
- 平成26年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算
総額1億5997万1千円、前年度比1115万円の減
- 平成26年度美浜町公共下水道事業特別会計予算
総額4億9388万8千円、前年度比2238万円の減
- 平成26年度美浜町上水道事業会計予算
総額3億1171万3千円、前年度比1億2440万4千円の増
- 美浜町保健福祉センターの指定管理者の指定について
美浜町保健福祉センターの指定管理者として社会福祉法人美浜町社会福祉協議会を指定するもの

平成 26 年度 一般会計予算概要

予算規模	予算額	62 億 7,216 万円	前年度比	▲ 1 億 4,360 万円 (2.2%減)
------	-----	---------------	------	------------------------

【参考】 前年度	予算額	64 億 1,576 万円
-------------	-----	---------------

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	地域生活交通活性化事業	210	現行の定時定路線型のコミュニティバスにデマンド型乗合交通を試験的に導入して効果を検証する。
	美浜町エネルギー環境教育体験施設整備事業	3,735	再編後の丹生小を予定地として体験施設の建設を計画しており、今年度建設委員会(仮称)の設置と実施設計業務委託を行う。
	振興計画策定事業	618	第五次美浜町総合振興計画(H28~)に伴う基本構想案を策定する。
	ふるさと美浜里帰り同窓会	163	町制60周年を機に本町出身者を故郷美浜に招待し、施設等の見学・体験等を通じて交流を図る。
民生費	福祉拠点化施設整備事業	1 億 9,707	旧保健センターを解体し、児童発達支援や障がい者等の生活支援サービスを提供する福祉拠点化施設を整備する。(解体工事、改築工事等)
衛生費	健康みはま21推進強化事業	240	げんげん運動(減塩減量)等を更に強化し、健康づくりの推進に向けた調査、検討を行う。(調査業務委託等)
商工費	舞若全線開通記念イベント事業	2,145	舞若若狭自動車道全線開通を記念し、秋に「ゆるキャライベント」「大恐竜展 in 若狭路」のイベントを開催する。
土木費	宅地造成事業	458	人口の流出を防ぎ、定住化を促進させるため、菅浜地係で宅地造成事業を実施する。
消防費	自主防災組織整備事業	210	各地区が自主防災組織を設置する経費、資機材、防災訓練に係る経費を補助する。
教育費	歴史文化館設置事業	348	旧せせらぎ保育園を再利用し、歴史文化館として活用するための改修工事に係る実施設計業務委託
	小学校施設改修事業	1 億 1,713	弥美小体育館外壁改修工事、美浜東小校舎・体育館外壁工事及び屋上防水工事を実施する。

3月定例会 (3月17日~26日)

3月定例会は3月17日から26日までの10日間の会期で開かれました。平成25年度一般会計補正予算等議案12議案を関係常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり可決されました。また追加上程された同意、諮問案件について、同意、答申しました。及び、陳情「これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書」については継続審議としました。

- 平成25年度美浜町一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出の総額をそれぞれ10億1183万5千円追加し、89億1104万4千円とするもの
- 平成25年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号) 1億9169万8千円の追加
- 平成25年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 3523万3千円の追加
- 平成25年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 1850万2千円の減額
- 平成25年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号) 762万2千円の減額
- 平成25年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第5号) 1056万3千円の減額補正
- 平成25年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 820万円の減額
- 美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 社会教育指導員等の報酬に関する規定を見直すもの
- 美浜町社会教育委員設置条例及び美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い関係規定を整備するもの
- 美浜町多目的屋内運動場整備基金条例の制定について 整備に必要な資金を積み立てたいので条例を制定するもの
- 美浜町レークセンターの指定管理者として若狭美浜物産協会を指定したので提出するもの
- 土地改良事業に係る計画の概要について
- 土地改良事業を実施する為、その計画概要について議会の議決を求めるもの
- 副町長の選任について 戸嶋秀樹氏の選任に同意しました。
- 監査委員の選任について 牧野実雄氏及び、飯田豊氏の選任に同意しました。
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について 田邊義郎氏の選任に同意しました。
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるものについて 田中孝治氏の諮問について答申しました。

平成 25 年度 一般会計補正予算概要

予算規模	補正額	10億 1,184 万円	補正後 予算総額	89億 1,104 万円
(参考) 前年同期	補正額	3億 6,609 万円	補正後 予算総額	80億 1,247 万円

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	公共施設維持補修基金積立金	4億 9,226	公共施設の修繕その他の維持補修に要する資金を積み立てる
	路線バス運行維持事業	408	路線バス運行維持のための地元負担金 ・若狭線 ・菅浜線
教育費	多目的屋内運動場整備事業	2億	多目的屋内運動場の整備に必要な資金を積み立てる
災害復旧費	農業用施設災害復旧事業 (有害獣侵入防止策復旧事業)	161	有害獣侵入防止策の災害復旧

常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

2月臨時会

予算決算
常任委員会
付託案件 9 件

◎平成26年度美浜町一般会計予算

〈町の予算概要について〉

問 政策的事務事業について予算順位の洗い出しにより大胆な縮減を行ったというが、具体的にどのようなように反映されているのか。

答 具体的な予算順位の洗い出しとして、町の振興実施計画に基づき予算措置をしているが、計画に挙がっていても財源的な問題で縮減したこともある。

〈総務費〉

問 職員の給与について電源交付金等で財源的に不安定な電源交付金については、経常経費よりもむしろ政策的事業の積立等に充てるべきと考えるが。

答 交付金に関して原子力立地自治体では、以前、電源交付金の使途は建設的な事業に限られていたため、立地自治体はハコモ

ノに偏るといった批判を受けた。今は事務経費等を含め柔軟に活用できるよう要望している。

問 マイナンバー制度の導入について、運用までの計画と町としてどのような効果が出るか。

答 マイナンバー制度は平成28年1月から利用開始となる。個人一人ひとりに番号を付与。パスポート、免許証、住民票等の番号を統一し、データベース化して個人情報取り扱い業務のシステムを構築する。統一化することで、町としても利便性が高くなると考える。

〈衛生費〉

問 健康づくり推進事業、健康みはま21推進強化事業、健康支援体制事業等、健康づくりに努力されているが、職員の負担も非常に大きいのではないかと。更に効果を上げるためにも、人的支援等の必要はないのか。

答 げんげん運動が始まり、各集落での健康指導教室等も増えている。新年度からは管理栄養士も採用するため、専門的指導も充実するものと考えている。

〈教育費〉

問 学校ICT環境整備事業をどこまで進める計画か。

答 タブレット導入も検討していることから、無線LANの整備も行いたいと考えている。

歳入

問 今後の原子力政策により歳出も抜本的に削減を迫られるであろう。中長期の財政計画は立てられないのか。

答 国の原子力政策次第で歳入が大幅に削減される恐れがある。投資的経費は削れるが経常的経費は削れない。投資的経費については補助事業を探すとともに、交付金の活用方法も検討している。現在は交付金を基金に充てるなど、工夫しながら財政運営を行っている。

3月定例会

予算決算
常任委員会

付託案件7件

新体制での

予算決算

常任委員会

スタート!!

●平成25年度美浜町一般会計補正予算(第5号) 歳出 (全般)

問 財政調整基金について、以前9億から6億になり現在4億と減少し今年度は5千万円程度の積立しか行わない。貯金が少ないのでは財政運営の点で不安である。今後、原子力交付金を自由サイドで人件費に充当するとその余裕分を財政調整基金に充てられないのか。

答 財政調整基金は25年度末で4億7千万円程になる。県内自治体に比べ少ないが、当町は特定目的基金を多く積んでいる。特に大きいのは、まちづくり基金と維持補修基金であり、今後も少子高齢化に相まって厳しい財政運営が余儀なくされてくるので、計画的に財政調整基金を積み努力をしたい。

問 公共施設の維持補修基金の取り崩しがこれまでであったのかどうか。また維持補修計画はあるのか。

答 平成24年度に美浜町公共施設維持補修基金条例を設置。電源立地対策交付金を財源とし、町の総合実施計画に基づき充当するが、当面は学校教育施設や社会教育施設、保育所等の社会福祉施設に充当。25年度末で残高が5億5,300万円。26年度は東小学校の外壁、屋上防水改修工事、弥美小学校校舎の外壁改修工事に使用する。

問 有害獣対策費の減について、イノシシの生息数が減少しているように感じるが、捕獲数から推測する等実態の把握は。

答 有害獣捕獲数は、実績が見込みを下回ったため減額した。シカ1200頭はほぼ見込みどおり。イノシシ捕獲見込み480頭が330頭、サル捕獲見込み100頭が80頭の予定。集落によっては有害獣が減っているところもあるようだが、町内全体としてはそうとも言い切れない。シカに関しては減っているようだ。

問 農地災害関係で平成26年度繰越分は何箇所あるのか。

答 9箇所分。内、現状では作付できない3、4箇所分があるが、地権者と相談して進めている。



歳入

(全般)

問 社会資本整備総合交付金は対象事業が限られているのか。返還せず、住宅や教育施設等、総合的な事業に充当することで、減額しなくてもよいのではないかと。

答 交付基準があり地域の社会資本整備に充てるもので、本町であれば道路拡張等土木建築業務に大部分を充てている。今後は住宅の改修に充てることも可能である。今回の減額は、嶺南圏域総流防事業について、県で採択され当該交付金を充当予

定だったが、国の対象外となったので、代わって県が補助することとなったため減額した。

●平成25年度美浜町一般会計補正予算(第5号)は賛成多数をもって可決しました。

●平成25年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)

●平成25年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

●平成25年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

●平成25年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

●平成25年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第5号)

●平成25年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

以上6議案は、全員賛成をもって可決しました。

総務文教
常任委員会

付託案件3件
陳情書1件

●美浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 社会教育指導員又は生涯学習に係る専門員は今後人数が増えるのか。

答 現在は、社会教育指導員2名を配置している。生涯学習に係る専門員は、社

会教育指導員が実質担っていた業務を明文化するもので新たに増員はしない。



生涯学習センターなびあす

●美浜町社会教育委員会設置条例及び美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 今後、小学校校長が兼ねる公民館館長の使命を拡大するのか。

答 今回の改正は、公民館館長の権限を拡大することとは違う。

●美浜町多目的屋内運動場整備基金条例の制定について

問 多目的広場として、どのように考えた設計計画なのか。

答 利用者等と協議しながら場所・規模については決めた。事業費は、振興実施計画において5億円ぐらいいし、今回2億円を積立てる。

以上の審査を終了し、全議案を承認した。

陳情書案件

●これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書については、協議の結果継続審議とした。

産業厚生
常任委員会

付託案件2件

●美浜町レークセンターの指定管理者の指定について

問 指定管理者制度から6年経過したが、客の入り数や効果はあったか。

答 地場産品の取り扱いが少なくなり客数は若干減ってきている。

問 団体に対応した施設になっていない。垢抜けていないのではないか。個人に楽しんでもらうようになっていないのではないか。

答 施設は老朽化している。土地の賃貸契約が切れる平成34年12月までに解決したい。

問 梅街道ができて客の流れが変わっている。悪循環に陥っているのではないか。

答 今年度は若干赤字になる見込みと聞いている。現在物産協会は意欲を

持ってやっている。町も一緒にPRしていきたい。

問 アウトレット商品を置くとかバイキングをやる、又カラオケ施設を作る等何か目新しいものをやる考えはあるか。

また三方五湖に放流したシジミを採る道具をレークセンターに置き、シジミ採りと料理ができるような、イメージアップにつながるような考えはないか。

答 協会にも考えていたが、一部が雨漏りして使用できない部分がある。

問 4年後の福井国体に向けてレークセンターの全体的な構想の中に何か計画はないのか。

答 ポートコース等の打ち合わせはしているが、レークセンターについては、今の所ない。

問 遊覧船は、三方五湖全部を巡れないか、また外洋には出られないのか。

答 漁協との協定もあるの

で、今後船会社に要望したい。



レークセンター

●土地改良事業に係る計画の概要について

問 乙見地区の土地改良事業を実施して、農業の担い手に耕作していただくという確証はあるのか。

答 現在担い手の方には事業の計画を見ている。全体の3分の2が耕作されていないが、実施することによって耕作されない所も今後耕作していただくようにしたいと考えている。

問 全部出上がるのが7年後というところだが、その見通しはどうか。

答 土砂が50万㎡出て、その内24万㎡入れるという計画になっており早く出れば早く終わるといいうように条件によって変わる。



質 問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いました。

防災計画について

問 防災対策の進捗状況と、ハザードマップが間もなく完成し、配布も近いと聞かれますが、それぞれの集落に即した防災・減災、避難方法などの指針となるようなものが加味されているのか。

町長 夏には登録された携帯電話に防災情報が一斉配信されるようになる。重要な場所の電柱等に標高表示をして位置が分かるようにしている。県の津波予報を基に危険箇所を色分けして表示し、避難場所・経路を図示したものを配布予定。その他災害の避難等の具体的な点はハンドブックを配っており、マップの性格上無い。

問 〈要望〉地域で避難計画を立てる際に要望したら、アドバイザーを派遣して欲しい。個人住宅の耐震診断の状況と、耐震率は。

答 平成17年度より国の補助で実施、6千円の費用で出来、年間4〜6件受診。耐震率は66・8%。

問 集落のセンター等の公共施設における耐震性の現状は。

土木建築課長 39集落にある施設の数には53棟在り、そのうち耐震上問題となる建物は26棟ある。

問 それらの耐震化に向けた対策・計画は。

土木建築課長 集落で長寿命化を図るのが原則であり努力して欲しい。町としても何らかの対策は必要と考えている。

問 施設改築の助成措置は。

町長 これまでの国の助成が無くなり、今は町で資金計画を立て助成の規程を決め対処していかなければならない。

美浜町観光振興計画答申を受けて

問 どう評価され取組まれるか。

町長 町の外部から見た「見た目」「もてなし」を検討いただいた。町内を3つのゾーンに分け、短期・中期・長期の計画を立て取り組みたい。当面資源のブラッシュアップを図りたい。農林漁業・教育施設・歴史も観光の対象。

問 これ迄にあったこの類の答申、取り組みと評価は。

観光課長 平成10年観光活性化ビジョンを作成。名物料理のうまいもん図鑑の作成や平成17年には「へしこの町」の商標登録を行った。

問 町の経済は危機的状況に有り、観光の裾野は広く、商工観光課任せではなく農林水産課などをはじめ各課の横の連携が必要で、各種業界団体を取り組みを一つに出来る機動的なものが必要ではないか。

町長 町は合併をせずに来たが、各種業界団体は合併し、経済が危機に瀕している。一つになって取組む何らかの対策は必要と考えている。観光は行政が関わっていかねば盛り上がりがないとも考えており、例えばレークセンター等の課題も出てくる。議論とも相談しながら進めて行きたい。



兵庫 賢一 議員



竹中 良廣 議員

エネルギー基本計画(案)を受けて 従来と変わりなく早期再稼働を求める

問 今年2月25日付けで発表されたエネルギー基本計画では、原子力発電を「重要なベースロード電源」と位置付け、再稼働を進めるが、「可能な限り原発依存度を低減させる」と言っている。この文言を聞いて町長は美浜発電所の今後をどのように捉えているのか。

町長 今回の基本計画は新增設やリプレースに関して明確な方針が示されなかったことは残念だが、原子力の重要性はしっかりと捉えているので一応の評価はしており、福島事故以前と変わらず原子力は必要であり、今後も推進して行くべき。

問 関電の大飯・高浜発電所の再稼働が予定より遅れている。美浜発電所はさらに後回しになることは必至である。1・2・3号機とも再稼働を断念することも想定する必要があると考えるが、町長の考えは。

町長 美浜発電所も多くの対策をしており、再稼働は可能であり特に3号機は運転再開できると思っている。

問 今後、いろんなことを想定して行政を進めようかなければならないと考える。その手当、方策はどのようなことを考えているのか。

町長 いずれ廃炉に向かって行動する時が来ると思う。そのため、今後、更なる行政改革を進め、職員の削減や財源確保を明確にしてからの発注形態への変更、協働のまちづくりを推進する。国へは新しい制度の創設を要求して行く。

問 使用済み核燃料などの最終処分制度を創設して以降10年を経過しているが、未だに候補地が決まっていない。原子力発電所を立地していない所での受入

れはかなり困難と考える。そこで、この地域での最終処分場の受け入れの可能性をどう考えるのか。

町長 この件については、現在全く議論になっていないし、広大な土地と硬い岩盤の地が必要であり、県内では適地は難しくないと考える。

持続可能な農業をめざすために 農家の大規模化を推し進める

問 TPP交渉が難航している。もし、関税撤廃になっても、美浜町の農業は大丈夫と言いたい。そのために、美浜で生産したものをトップセールスやオール美浜で販売網を拡大形成すべきと思うが。

町長 農産物の販売は農協を中心と考えていく必要がある。行政としてそのサポートは可能と考える。新たな農業農村再生計画が必要と考えるので、新年度にJA関係者と有識者による検討委員会を立ち上げる計画をしている。

問 国は5年後に減反制度を廃止し農地中間管理事業を推進するとしている。すなわち、遊休農地を中間管理機構が半強制的に借り上げ、それを担い手農家などへ貸出し100ha規模の大規模組織を形成してゆく考えだ。美浜町でもこのようなことが行われるのか心配である。美浜町の農業の今後をどのように考えているのか。

町長 農地の有効活用というところで美浜町化を進める必要があると考える。

問 以前からよく言われている、地産地消の言葉があるように、地域で取れたものはその地域で消費するシステムを作らなければならぬ。ここ美浜町では、地元で取れたものを直接販売する場所がない。美浜駅空きスペースを利用して毎日、生産者が自由に何でも販売できる場所の提供はしてはどうか。

町長 美浜駅横の空きスペースは運用に制限があり使用所に対して難しい面がある。約前に販売所の計画をしたが、美浜町では四季を通じて販売するだけの農産物を確保できないことから断念した。今後、検討委員会を立ち上げハウス栽培や酪農、野菜作りなどの生産の検討をし、量産が見込めれば販売所の計画も検討する。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しております。

気がかりな子供の福祉、 施設を充実

問 福祉拠点化施設の建設にいたった経緯と概要は。

町長 福祉関係の要望は多く、それに応えるものである。

福祉課長 気がかりな子供たちの発達支援、生活支援は緊急性が高い。行政が運営する他の市町の施設は当町民が使えない事情もあって決心した。

問 施設の建設費用と特徴は。

福祉課長 旧図書館の解体費用は約1200万円、施設の建設費は約1億8500万円である。建築物の耐震化はもちろん、バリアフリー化、トイレの設計等工夫した。

問 施設規模は適正か。

福祉課長 利用対象人員に幅があるが、利用時間制等に工夫をこらして対応していきたい。

美浜町出身の会員の 里帰りを支援

問 ふるさと美浜里帰り事業の目的と概要は。

町長 東京美浜会、関西美浜会の運営に尽力いただいている役員や会員を、町政60周年を記念して招待する。

企画政策課長 この事業は町政50周年時も実施した。今回は60周年を記念して行う。美浜会の会員80人を予定している。内容はなびあす施設見学と美浜町PR映画を見ていただき、若狭路恐竜展、国吉城址レインボーライン、三方五湖遊覧等を企画している。また、美浜の特産品購買や食事



浜野 健治 議員

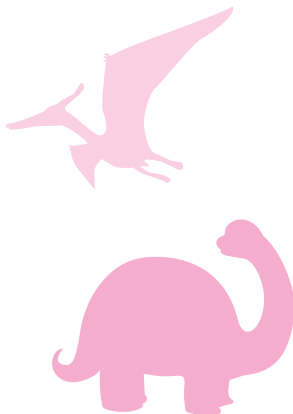
総合体育館に39体の 恐竜骨格を展示

〈提案〉美浜の観光集客は大切であり、里帰りにとどまらず同窓会、同級会等にも補助をすることにより、民宿、旅館、観光施設が潤うような企画を考えていきたい。

問 舞鶴若狭道全線開通記念イベント「若狭路恐竜展」とは。

町長 高速道路の開通を記念したイベントとして企画している。展示のみにとどまらず、集客を目的としたい。

福祉課長 10月4日から44日間、総合体育館を会場に、恐竜骨格39体を展示し、4万人以上の集客を予定している。同時に美浜の60年の歩みを展示する。実行委員会を設けて実施する。



原発ゼロと雇用拡大

問 福島原発過酷事故から3年、いまだに放射線物質が大気と海に放出され続けている事態を目の当たりにして、美浜町でも、原発は不安、やめてほしいなどの住民の声が上がっている。原発依存から脱却し、原発廃炉を決定してこそ、町への経済効果を生み出だすと考えるが、所見を伺う。

町長 第一に福島の救済を国に要望し、原子力が必要であるという立場をとっている。この状況は3・11以前と変わっていない。より安全化された発電所を再稼働していくべきである。

問 再処理ができない使用済み核燃料をつくり続ける再稼働は許されない。ドイツでは廃炉で地元の雇用がふえているという実例があり、廃炉を進める浜岡原発でも、稼働しているときと雇用は変わらない状況である。廃炉作業が地元で雇用と経済効果を生み出し、地域を元気にさせる原動力になる。どのように考えるのか。

町長 やがて来る廃炉のときには、町の産業の発展のために大いに活用させていただく。しかし、今現在廃炉にするかどうかというについては、議員と全く正反対である。



河本 猛 議員

〈河本〉町の労働者や町財政も苦しい現状にある。雇用をふやす原発の廃炉を決定していただきたい。

広域避難要綱、 大野市への避難について

問 住民から、風下の大野市では放射性物質から逃れることができない、原発のある地域を避けて避難していかなくておかしいとの声寄せられた。過酷事故を想定したとき、大野市まで避難することは困難である。住民の健康、命を守る立場から、福井県に対して県外に避難先を設けるよう要請すべきであるが、所見を伺う。

町長 大野市までの経路、時間はまだ明確になっていない。今後検討しながらやっていきたい。コミュニティがとりやすい県内の避難先に決定させていただいた。

問 大野市は雪害も想定できる寒冷地帯、避難者に過重な負担がかかからないよう、どのような対策をとるおつもりか。

町長 町が避難のお世話を全てやれるというふうなことは、考えられない。〈河本〉考えられないというのは、住民に対して非常に不安感を与える。避難者の受け入れ態勢の確立、支援物資の調達・搬入などが行いやすい県外へ避難先を定めることが求められている。



美浜発電所

一般質問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

国吉城址史跡調査および公園整備計画について

問 平成15年に策定された国吉城址史跡公園等環境整備計画について、進捗状況はどうか。また若狭国吉城歴史資料館のオープン後の来館者数と、どのような地域から来られているのか。

学校教育課長 発掘調査は第14次調査まで進んでいる。平成15年度から遊歩道、標柱、駐車場を整備して平成21年に若狭国吉城歴史資料館をオープンした。オープン後、現地説明会や資料館を活用したイベントを実施している。入館者は、平成21年4月から平成26年3月20日までで1万8200人。遠い所では、北海道、九州から見えており、ゴールデンウィーク期間中の内訳は町内3割、県内3割、県外4割の割合だった。

問 資料館までのアクセス道が、大型バスでは道が狭くて直接行けない。また資料館の前は、大雨が降ると水路が詰まり滝のようになって大きな被害が出ているのでその対策は。

学校教育課長 中型バスは、昨年度が桜の枝の伐採をしていたたいたので通れるようになった。大型バスについては、国道に止め町並みを歩いて資料館まで行っていたしており、道路の拡幅は容易でない。豪雨による被害の対策は今後関係課と協議し検討したい。



若狭国吉城歴史資料館



野瀬 雅己 議員

問 計画策定後10年経過しているが、今後、公園全体の計画をどのように進めていくのか。

町長 今後の計画については、発掘調査の結果、石垣や山頂にも建物跡が出てきた。当初考えていたよりも歴史的な価値が大きく、町の史跡から県の史跡、また国の史跡指定の可能性もある。平成26年度から、県とも一緒に専門的立場から検討して方向性を出して行きたい。

美浜町10年後はどんなになっているか？
若者が活躍する場を大いに提供していく必要があると考えている。

問 総合振興計画策定前に、現在の総合振興計画の検証が必要であると考えているが、どのように検証するのか。

企画政策課長 財政や行政評価の取り組みと、振興計画、財政、行政評価の三位一体の連携をさらに強化し、政策実現の手法についての協働に対する職員の理解促進と、協働意識の定着を図っている。

問 美浜町を取り巻く状況の中で、現実をもっと直視した上で総合計画を立てていくべきではないかと考えるが。

町長 町民の皆様の意見をくみ上げていく努力を今まで以上にしたい。皆様の要望を入れ、周知徹底していく事に力を入れる必要があると考えている。

問 町民に対し次の総合計画をどのように明らかにしていこうと考えているか。

町長 計画を立てる前に、まずは町民や議会の意見を聞き、皆さんで立てていく必要があると考えている。PRの方法については、立てるまでに町民の意見を聞きその上に立って進めていく必要があると考えている。

問 次の総合計画は、今までの延長線上で本当にいいのか、次の計画をどう考えているか、そしてその上でこの町の将来をどう考えているのか。

企画政策課長 第4次から協働を非常に多く取り入れ、さらなる協働のまちづくりの情勢を、策定の段階からできるよりにやっていきたい。さらには選択と収集、政策選択がしっかりとできるよ

に、住民の皆さん方と共に策定を行い、振興計画の策定を進めていきたい。

意見 総合計画というものはからくりのよいうなものではなく、議論した中で住民感覚を誰にもわかりやすく、常に時代の流れや町を取り巻く自分の足元見る必要がある。状況は常に変わる。つくる計画ばかりではなく、する計画も求められる。さらに重要なことは、作る計画の中には作らない計画や、修復する計画も含み、する計画の中には他人にさせない計画や、他人にさせるという計画も含んでいると考える。当たり前の事だが計画を立てることというのは、しない事やしてはいけない事を定める事であると考える。

町長 今後の美浜町の振興計画はより広域化し、専門家などの判断を聞き外部の力を借りる必要があると考えている。



松坂 隆司 議員



各種委員会 報告

【議会活性化特別委員会】

今年も「議会を語ろう会」を 開催します。

町民皆様の付託に、よりお応えできる議会を目指し、議会活性化特別委員会を3年前に立ち上げました。以来、竹仲・北村両委員長の力強いリーダーシップのもと、各市町議会の先進的な取り組みを調査・研究・視察させて頂き、議員諸氏の精力的な活動も相俟って一定の前進を見ました。

新メンバーになった今、これ迄に積み上げてきた成果を共有し、昨年から始めた『議会と語る会』の取組みのスピードを上げて、町内全集落での実施を成し遂げると共に、更なる高みを目指すことを確認しました。(兵庫記)



昨年開催された「議会と語ろう会」の様子

その他 活動報告

【美浜・三方環境衛生組合】

ガス化溶融施設を新設

平成26年1月26日、美浜・三方環境衛生組合議会定例会が美浜町議場で開催されました。提出議案は

(1)平成25年度美浜・三方環境衛生組合 一般会計補正予算

(2)平成26年度美浜・三方環境衛生組合 一般会計予算

平成25年度補正予算については、施設運営費及び施設建設費による64万8千円の減額。総額7億7112万5千円とするもの。

平成26年度一般会計予算については、歳入歳出それぞれ8億835万1千円。歳出の主なものとしては、ガス化溶融施設及びリサイクルプラザの委託料管理費3億8659万円。堆肥化施設の委託管理費8600万円。汚泥再処理センター基本設計業務等にかかる2650万円です。

2議案とも全員賛成で可決しました。

(藤本記)

【嶺南広域行政組合】

若狭路産品のPRを拡大

3月19日嶺南広域行政組合第1回定例会が開催されました。

平成25年度一般会計補正予算は、912万円増額で、補正後の予算総額は9億8197万4千円となりました。

平成26年度当初予算は10億4809万8千円となりました。重点施策は、嶺南地域への誘客拡大を図るための事業、若狭路産品の区域外への販路拡大を支援する事業です。

(藤本記)

【敦賀・美方消防組合議会】

災害に強い安心、 安全な町をめざして

平成26年第1回敦賀美方消防組合定例会が本署で開催された。今年のスローガンは「災害に強い安全で安心なまちづくり」で重点施策は

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 地域防災力の強化
- (3) 消防救急デジタル無線の整備、構築
- (4) 消防活動技術の強化
- (5) 消防団活動の強化

平成25年度一般会計補正予算、平成26年度一般会計予算と条例2件が承認された。また、当町代表議員の浜野健治が副議長に就任しました。

(浜野記)

【公立小浜病院議会】

定例会について 今後の病院経営を考える

- (1) 平成25年度事業会計補正予算
- (2) 平成26年度事業会計予算
- (3) 組織に関する条例の一部改正
- (4) 設置等に関する条例の一部改正
- (5) 監査委員の選任同意

以上5議案を可決。また、当町代表議員の松坂隆司氏が常任副委員長、野瀬雅己氏が監査委員に就任しました。

医師不足、経営問題他、関係者一丸となって取り組むことが重要であり、地方公営企業法の全部適応により、責任の所在を明確にし組織を固めなければ、今後にも諸問題が尾を引き経営が好転することは難しいのではないかと考える。

(松坂記)



レイクヒルズ美方病院

議会の動き

1月5日	美浜消防団出初式
28日	例月出納検査 美浜町・若狭町議会振興協議会
2月5日	美浜・三方環境衛生組合議会 嶺南広域行政組合定期監査 議会運営委員会
7日	美浜町政施行60周年記念式典
11日	第1回町議会臨時会(全員協議会・本会議)
12日	第1回町議会臨時会(全員協議会・本会議)
13日	予算決算常任委員会
14日	公立小浜病院組合議会
17日	第1回町議会臨時会(全員協議会・本会議) 議会活性化特別委員会
19日	嶺南広域行政組合議会代表者会議
20日	福井県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
25日	第65回県議定会定期総会
28日	例月出納検査 第16期町議会議員打ち合わせ
3月12日	第16期町議会議員研修
13日	平成26年度予算及び事業説明会
17日	第2回町議会定例会開会
18日	全員協議会・本会議
19日	予算決算常任委員会
20日	総務文教常任委員会
24日	産業厚生常任委員会 敦賀美方消防組合議会代表者会
26日	第2回町議会定例会閉会(一般質問・全員協議会) 嶺南広域行政組合3月定例会
27日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 敦賀美方消防組合議会
28日	例月出納検査 福井県原子力環境安全管理協議会 公立小浜病院組合議会

春・爛・漫



Spring has come

話題の映画「サクラサク」の上映に合わせ、桜花爛漫のさくら一色の季節です。

4月12日には、観光シーズンの到来を告げる恒例の「三方五湖春まつり」が行われ、レインボーラインと三方五湖の千客万来とシーズン中の安全祈願が行われました。それに先立ち、レインボーラインのケープ



ルカーも新調され、フラットな床面と雄大な日本海のパノラマを楽しめる大きな窓、更にハート形のつり草は、山頂公園の「恋人の聖地」と結び付ける面白い愛デアです。

皆さんも是非、ご家族お揃いで、新しくなったケープルカーに乗っていただくと共に、ジェットクルーの遊覧船で三方五湖を満喫してみてください。きっと、故郷・美浜の美しさを再発見出来ると思います。

そして町民の皆さん全員が「かたりべ」となって、舞鶴若狭自動車道からお越しになる観光客のお客さまを「おもてなし」でお迎えしましょう。

美浜町の切り札でもある観光を地場産、更に6次産業とコラボして春暖、春暖となるように皆様と一緒に頑張りましょう。(辻井記)



編集後記



改選後、最初の「議会だより」は今回で第17号目。新人4人を迎え議会構成も変わり新たなスタートを切りました。平成26年度は舞鶴若狭自動車道の開通だけでなく、様々な場面で美浜町が変革していく年になります。議会としても昨年に続き集落単位の「議会と語ろう会」の開催を通じて、より住民目線で活動する議会として邁進していきます。(松坂記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】松坂隆司 【委員】川畑忠之・崎元良栄
【副委員長】辻井雅之 藤本 悟・松田うめ子
飯田 豊